

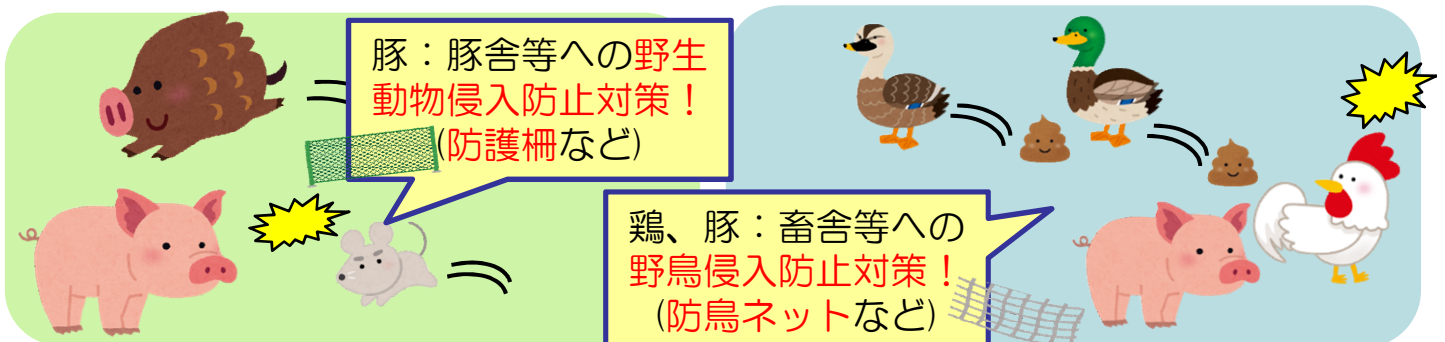
飼養衛生管理基準の確認をしましょう！

新型コロナウイルス感染症拡大により、2年間停止されていた訪日外国人客の受け入れが、6月10日に再開いたしました。現在は上限2万人、添乗員付きのパッケージツアーのみの受け入れですが、そのような規制も、今後、徐々に緩和されることが考えられ、以前のように海外からの観光客が増えてくる可能性は否定できません。このことから今後も、新型コロナウイルスのように、これまで日本にはなかった家畜の病原体が海外から侵入するリスクが高まることが考えられます。

飼養衛生管理基準は、農場内への病原体の侵入リスクを減らすために、生産者の方が遵守しなければならない基準です。海外からの観光客が少ない今のうちに、飼養衛生管理基準の確認をすることが大切です！飼養している家畜の種類や、各農場の状況にあった対策が重要です。今一度、自分の農場で病原体侵入リスクになりそうなポイントを見直してみましょう！



野生動物侵入防止対策の点検・修繕をしましょう！



豚熱等特定家畜伝染病に係る病性鑑定研修会を開催しました

平成30年（2018年）9月、岐阜県の豚飼養農場で、国内では26年ぶりとなる豚熱（CSF）の発生が確認されました。その後、中部・関東地方を中心に複数の県に発生が拡大するとともに、令和4年（2022年）6月28日現在、17県82例の発生が確認されています。また、令和4年（2022年）3月に、山口県及び広島県、5月に島根県の野生いのししでも陽性事例が確認されました。

このような状況を受け、令和4年（2022年）5月27日、4月に新規採用された家畜保健衛生所の獣医師職員等を対象とした、豚熱（CSF）を疑う病性鑑定研修会を開催し、迅速かつ的確な初動防疫がいつでも講じられるように努めています。



令和4年度（2022年度）家畜保健衛生事業推進会議を開催しました

令和4年（2022年）6月3日（金）、中央家畜保健衛生所会議室において、管内の関係機関との協力体制の確立や円滑な業務推進を目的に、令和4年度（2022年度）家畜保健衛生事業推進会議を、3年ぶりに対面式にて、開催しました。会議では、家畜保健衛生所の組織体制及び職員紹介、各種事業概要、豚熱や高病原性鳥インフルエンザ発生状況に加え発生時の関係機関の役割について説明することで、関係機関との連携強化を図りました。

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地（国）	畜種	発生日
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N2	台湾	家きん	令和4年6月2日
		フィリピン	家きん	令和4年6月7日
	H5N1	ロシア	家きん	令和4年6月7日
		ベトナム	家きん	令和4年6月8日
口蹄疫 (FMD)	O型	広西チワン族 自治区	豚	令和4年5月23日
アフリカ豚熱 (ASF)		フィリピン	豚	令和4年4月8日
		タイ	豚	令和4年6月2日
		韓国	野生いのしし	令和4年6月13日

令和4年(2022年)6月30日現在



毎月20日はくまもと家畜防疫の日

定期的な消毒を実施しましょう！

